



「子どもたちの登校を安全に」の親の切実な要望を携えて、長岡市教育委員会と中之島支所に、申し入れをしました。

冬期のスクールバスを増やして



県庁の議員控室の前で

中之島中学校の冬期間は、家族（父母）が毎日の自動車送迎「歩道除雪のない3キロの雪道は危険」

7月1日、遠藤れい子県会議員は、笠井則雄市会議員とともに長岡市教育委員会に地域の要望を届け、懇談しました。

【問題点と要望事項】

① **冬季間の歩道除雪を**
みずほ団地は中之島中学校から3キロ離れている。小学生はスクールバス対象地域だが、待機場所（みずほ公園）までの歩道除雪がなされていない

い。冬季間は危険であり、歩道除雪をしてほしい。
② **中学生にも冬期間はスクールバスの運行を**
中学生は夏場7キロ以上、冬場4キロ以上がスクールバス対象地域とされている。団地から中学校までの歩道除雪は通学時間には間に合わず、車道を歩いての通学になる。車道は交通量も多く危険なので、現在どの家庭も家族送迎をしている。

③ **家族送迎で渋滞発生も**

県道（見附・中之島線）まで渋滞したことがある。

【市の回答】

①合併前（旧中之島）のルールを踏襲している。

②中学からみずほ団地までは2.5キロと承知している。

（団地の一番遠い家からの実測では3.0キロある）

③県道の歩道除雪は優先順位があり登校時間までに間に合わない

④交通量が多い事は承知している。スクールバス適応になっていない家庭には学校から伝

え了解を得ている。
【解決に向かって】
通学路の安全確保は重要な課題です。事故があつてから

では遅い。スクールバスの対象地域の拡大、または歩道除雪を早期に実現してほしいものです。

世論調査より

新聞や民放は7月に世論調査を行っています。

岸田内閣に優先してほしい政策は、①経済・財政政策②

先で取り組むべきです。岸田首相は参院選直後に、「できるだけ早く改憲発議をしたい」と述べましたが、世論は憲法改正を緊急課題としていません。

外交・安全保障、③年金・社会保障制度、④教育・子育て支援、⑤新型コロナウイルス対策、⑥原発やエネルギー政策、⑦憲法改正と続きます。

A社の調査では	%
経済・財政政策	62%
外交・安全保障	46%
年金・社会保障制度	46%
教育・子育て支援	45%
新型コロナウイルス対策	25%
原発・エネルギー政策	21%
憲法改正	10%
ジェンダー・多様性	6%
その他	1%
わからない、答えない	2%

新型コロナ感染が再拡大 第7波の到来か 感染防止に一層の注意を

例年にも増して厳しい暑さの夏本番。長岡花火を直前に、新型コロナウイルス感染が再拡大。心配です。一人一人が気を付けることはもちろんですが、感染力の強いBA.5変異株に、検査の拡充、病床の確保など医療体制の充実が国や自治体のしっかりした対応を望みます。

遠藤れい子県議 忙しさの間を

